

長岡崇徳大学 令和八年度 一般一期 入学試験問題 正答例
国語総合（古文・漢文を除く）

一

問一 ①立派 ②必然 ③けんちょ ④あんがい ⑤ふくしょう ⑥唯一

問二 A 良く知られているように、皆が知っているように等 F ぐちを言う

問三 「目で見る言語」の話者（十一字）

問四 伝言ゲームをすれば二人目でたちまち内容が変わってしまう（という特徴）（二十七字）

問五 D インド系フィジー人 E フィジー系フィジー人（「目で見る言語」の文化にどっぷりつかっている教師は、ノートに書き取って綴りを覚えるという方法に慣れているため、「耳で聞く言語」を話す人々を低く評価する傾向にあるから、このような順序になる）

問六 一年後に私が同じ村をたずねたときにも彼らはやっぱりその文を覚えていて、私に話しかけてみせるのだった。（五十字）

二

問一 ①高貴 ②真剣 ③けしん ④きえ ⑤禁物 ⑥あや

問二 A 親しい間柄の人 E 別れのあいさつをすること

問三 まるで（副詞「まるで」は助動詞「ようだ」と呼応する）

問四 女性がこれから藤兵衛に話そうとする内容は、他に聞かれたくない秘密の話であり、とても重要だという印象を与える効果がある。（部分点有り）

問五 自分の信仰心の厚さを弁財天が評価してくれているという満足と、不忍池から引越す先に自分の庭の池が選ばれたという自尊心があったから。（部分点有り）

問六 藤兵衛の弁財天に関する信仰心を利用して、ありもしない架空の話をでっちあげ、あたかも神秘的な出来事が起こると信じ込ませたが、本当は当家の蔵を打ち破って財宝を盗み出すことが本当の目的だった。（部分点有り）

三

問一 ①悲劇 ②主観

問二 ①一つのこと集中して、気を散らさないこと ②自分が生きていく上で大切にしている言葉のこと

問三 ①そつちよく ②しつぺい

問四 ①「銀河鉄道の夜」「注文の多い料理店」「セロ弾きのゴーシュ」「やまなし」など。

②『雪国』『古都』『伊豆の踊子』など。